



[財]日本太鼓連盟

NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 2004年1月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

財団法人日本太鼓連盟 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL:<http://www.nippon-taiko.or.jp> Email:info@nippon-taiko.or.jp

会報

● 年頭のごあいさつ ●



財団法人日本太鼓連盟
会長 津田 正

新年明けましておめでとうございます。

当財団は、ご承知のように1979年8月に任意法人として発足された全日本太鼓連盟（笹川良一会長）が太鼓を愛する人たちの熱意により、1997年11月に待望の財団法人日本太鼓連盟として設立されました。任意法人であった24年前から日本財団並びにモーターボート関連団体の支援を得て、日本太鼓の伝統伝承および普及、振興をとおして、わが国文化の発展に寄与するため国内のみならず海外においても各種事業を積極的に推進してきております。昨年は会員の皆様のご理解とご協力により所期の成果を上げることができました。先ず、支部につきましては、北海道道南支部と新潟県支部が開設され39支部（36都道府県）となりました。全国規模の大会は順調に回を重ね、新たに文部科学大臣奨励賞が付された第5回総務大臣杯日本太鼓ジュニアコンクール（3月 山梨県支部主管）、第5回日本太鼓全国障害者大会（9月 関東地区協議会、東京都支部、富岳会主管）、第7回日本太鼓全国フェスティバル（10月 石川県支部主管）は関係者の熱意と努力により円滑に行われ、多くの観客に日本太鼓の素晴らしさを実感していただきました。特に、障害者大会には皇后陛下に行啓賜り、演奏終了後には出演者全員に親しくお声をかけていただきました。皇后陛下の優しいお言葉に出演者の皆様は感動し、一生の思い出になると大変喜んでおりました。日本太鼓チャリティコンサート（5月 東京）

とともにこれらの大会は、日本太鼓の普及、振興に着実に結びつくものと期待しております。当財団主催の日本太鼓全国講習会は年3回（2月 宮崎県支部主管、6月 静岡県支部主管、11月福島県支部主管）の開催が軌道に乗る一方、支部主催の講習会も2支部の地域で開催されました。受講生は年々増加の傾向にあり、公認指導員、技術認定員の資格取得者数はそれぞれ201名、3,037名と着実に増えてきております。国際親善と文化交流を図るための海外公演は、先ず6月に日本から2チーム、アメリカから1チームをアメリカのニューヨーク州・国立ろう工科大学で開催された「聴覚障害者教育に関する国際シンポジウム」並びにワシントンD.C.にあるろう者のための学校（ギャローデット大学）に派遣いたしました。この公演は、太鼓が日本の伝統芸能としてだけでなく、ろう者の方にとって音楽を楽しむ一つの手段として親しまれていることを、より多くの方々に知っていただくために実施したものです。8月にはロシア・モスクワにおいて行われた世界糸東流空手道選手権大会に太鼓チームを派遣し、世界27カ国から参加した人たちに日本太鼓を披露いたしました。

2004年は、当財団が設立7年を迎えるにあたり日本太鼓の普及重点策を明確にしていく必要があると考えます。それは特に子供に対しては教育の場で、障害者には療育の場でそれぞれ日本太鼓の普及を図っていく機会を多く設けていくことです。既に中学校、高等学校において文部科学省の「学習指導要領」の改訂に伴い、太鼓などの和楽器の音楽学習が行われております。全国の太鼓団体の指導者が教育委員会や学校からの要請を受け、中・高校を問わず多くの学校で日本太鼓を教えております。当財団としても全国の教職員を対象とした「教職員日本太鼓実技研修会」の開催を、ここ2年間の実績をもとに、助成金制度を充実させ、各支部に実施のお願いをしてい

るところです。障害者による太鼓演奏やその響きは、障害者大会はもとより、前述した海外においても、療育としての効用が評価されております。富岳会では日本財団の支援を得て「機能回復訓練棟」（通称・富岳太鼓パレス）を完成させ、さらに充実した内容で知的に障害を持たれた方の療育等を目的に太鼓による活動を行っております。長野県支部では、小口支部長が率先して多くの障害者施設での指導に当たり、定期的に演奏会を開催し地域で感謝されております。このように障害者の方に一人でも多く日本太鼓の響きを体験してもらいたいものです。海外の拠点づくりについては、ようやく構想が固まり年内に北米

のアメリカ太鼓連盟と南米ブラジルの太鼓連盟開設の準備が整ってきております。国内の支部未開設の11府県については、引き続き関係者の協力を得て鋭意開設を目指すこととしております。全国大会等定例の事業につきましては、外部の声を聞き実施内容等を研究し、前年以上の成果を期していくため支部並びに加盟団体との協調連携をさらに強め、前進してまいり所存ですので、会員の皆様の協力を重ねてお願い申し上げます。

終わりに、皆様のますますのご健康、ご繁栄を心からご祈念申し上げ、新しい年を迎えてのご挨拶といたします。

太鼓の里・石川県で感動の拍手 ～第7回日本太鼓全国フェスティバルを開催～



（開場を待つ観客の列）

2003 ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭に協力して第7回日本太鼓全国フェスティバルが、10月12日に石川県金沢市石川厚生年金会館にて、1,600人の観客を集めて盛大に開催されました。

今回は、主催・財日本太鼓連盟、2003 ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭実行委員会、石川県、財石川県芸術文化協会、主管・石川県支部、社石川県太鼓連盟、北國新聞社、後援・文化庁、金沢市、北陸三県太鼓協会等のもと行われました。

当日は天候に恵まれ、観客の出足も好調で、早くから多くの観客で会場は埋まりました。演奏前に観客が見守るなか、主催者側を代表して当財団塩見理事長の挨拶、続いて石川県新宅県民文化局長よりご祝辞をいただき、いよいよ開演となりました。

まずは、今年8月にロシアにおいて公演を行った宮崎県「橘太鼓響座」による演奏に始まり、愛知県「尾張新次郎太鼓保存会」が、笛の音に合わせバチを回転させたり、飛ばしたりと、見事なさばきを披露しました。第5回日本太鼓ジュニアコンクールにおい

て32都道府県38団体のトップに輝いた長野県「信濃国松川響岳太鼓子供会」は優勝チームらしく表現力・芸術性溢れる熱演が好評でした。

続いて、現在までに30数カ国で海外公演を行っている東京都「太鼓集団天邪鬼」の実績に違わぬ見事な演奏、400余年の伝統を誇る東京都「八丈太鼓六人会」の独特なリズムによる個性的な演奏、埼玉県「秩父祭屋台囃子保存会」の県重要無形文化財にも指定されている豪快なリズム、大分県「ゆふいん源流太鼓」の迫力ある大太鼓、と次々に披露される地域の特色と工夫を凝らした個性豊かな演奏に、観客は圧倒された様子でした。出演者たちの白熱したバチさばきに、観客が思わず声援を送る場面もあり、各チームの演奏が終了するたびに感動の拍手が会場を埋め尽くしました。

プログラムも順調に進み、出場8団体のラストを飾ったのは総勢200余名に及ぶ石川県太鼓連盟合同チーム「加能の響き」による演奏でした。加賀の虫送り太鼓、能登のまつり太鼓、能登の名人による太鼓と、バラエティに富んだ石川県伝統のリズムが披露され、クライマックスは全員による勇壮な揃い打ちで締めくくりとなりました。

最後は、財団役員並びに出演者全員が舞台上がり、池田副会長の手締めでフィナーレを飾りました。公演終了後、観客の方々から「太鼓の響きに改めて感動した」「何となく来てみたけれど、今は太鼓の魅力を知った」等の言葉も聞かれました。

このような声が聞かれたのも、石川県支部の役職員並びに会員の皆様、そして出演団体をはじめとする関係各位のご協力のお陰と感謝いたしております。

合同演奏秘話

「息を合わせ」

手取充龍太鼓保存会・フェスティバル舞台監督

安江 信寿

第7回日本太鼓全国フェスティバルが石川県で開催されることとなりました。石川県太鼓連盟ではフィナーレに合同演奏「加能の響き」を220名で演奏することが決まり、直ちに出場チームを募集。初回打ち合わせを行い、各チームに譜面と練習スケジュールを配布しました。1月から3月までは初参加の方々の特訓、9月の合同練習を目指して、各チームでの自主練習がスタートしました…。

石川県では、昔から「能登の雨乞い、加賀は虫送り」と言われ太鼓が盛んでした。曲中の能登の響きでは、無形文化財に指定され、太鼓打ち競技会で大関位の打ち手が口能登伝統のリズムを、また、加賀の響きでは加賀平野に伝わる虫送り太鼓を、客席上手より金沢百萬石太鼓、下手から松任出城虫送り太鼓保存会が、それぞれ大桶胴太鼓を担いで登場、ステージ上でぶつかり合います。

いよいよ1回目の合同練習。

「わしの場所どこや？私は？今日は太鼓持って来てないけど」等々…。とにかく自主練習の成果を、と思ったが、まず皆の心を一つにと、自己紹介から。年齢も5歳～70歳と幅広い。全員体育館に座って膝を叩いて掛け声、リズムの確認、いよいよ太鼓に向かって打つ。右側のチームが速くなる、今度は締太鼓が遅い、声が小さい。約4時間の練習、皆ぐったり。次回は来週の日曜日1時から。帰りはニコリ。

2回目の合同練習。前回来ていなかったチームが、

「わしの場所は？私はどこ？」からスタート…。

大太鼓、締太鼓、長胴太鼓担当をとりあえず決める。一生懸命、大きい声出せ、周りの音を聞け、身体でリズムを取れ、笑顔で、息を合わせ。心ひとつ、無事終了。次回も来週の日曜日です。…返事が重い。

3回目終了。4回目、いよいよ最後の合同練習。

今日は皆の顔が今までと違う。多分自主練習して自信を付けてきたみたい。練習終了。いよいよ来週本番です。20分間のステージ楽しみましょう。



(石川県太鼓連盟揃い打ち)

「加能の響きのスタートです」緞帳が上がる。大太鼓スタート…。皆良い顔している。息を吸うところ一緒、息を合わせている。全員身体中で打っている、心ひとつ、笑顔、笑顔、全員、目が潤んでいる。今はステージから降りたくない、ずっとこのまま。

演奏終了、御陣乗太鼓の名手、財団の池田副会長が挨拶。「わしゃ、うれしい…」と感涙。この一言でみなもらい泣き。



(フィナーレ)

<出演団体>

- ・ 橘太鼓 響座
- ・ 尾張新次郎太鼓保存会
- ・ 信濃国松川響岳太鼓子供会
- ・ 太鼓集団 天邪鬼
- ・ 八丈太鼓六人会
- ・ 秩父屋台祭囃子保存会
- ・ ゆふいん源流太鼓
- ・ 石川県太鼓連盟合同チーム

出演順8団体

(宮崎県)

(愛知県)

(長野県)

(東京都)

(東京都)

(埼玉県)

(大分県)

「加能の響き」(石川県)

第7回日本太鼓全国フェスティバル ビデオ販売のお知らせ

ビデオ購入希望の方は(財)日本太鼓連盟石川県支部事務局までお問合せ下さい。

・ 石川県支部事務局 得能力知

Tel/Fax 076-229-1433 携帯 090-3297-6012

金額 3,500円(送料・税込み)

第8回大会は山形県天童市で開催

第8回日本太鼓全国フェスティバルは2004年9月19日(日)天童市市民文化会館(収容人数1,100名)において山形県支部主管により開催を予定しています。なお、本フェスティバルは東北地方で初めての開催となります。

日本太鼓と学校教育— ⑬

(財) 日本太鼓連盟島根県副支部長、江川太鼓保存会こうがわの樋口忠三氏よりお忙しいなか、学校における短期間での指導方法について寄稿いただきましたのでご紹介します。

「日本太鼓で引き出す子供たちの能力」

江川太鼓保存会 樋口 忠三

江川太鼓では、幼稚園、小・中学校、川本高校での太鼓指導を行っています。

10月には、川本高校吹奏楽部がドイツ公演を行い、日本太鼓を取り入れた演奏をして大好評でした。その時の太鼓はドイツ製。

最近の即席太鼓演奏を一つ紹介します。中学校の総合学習の時間を利用して日本太鼓に取り組み、未経験者に5回の指導で文化祭の舞台に立たせたいとの話。

<最初の不安げな先生の感想>

「女子はやる気満々、男子はやりたいと手は挙げたもののどうなることかと心配」

男子については「恥ずかしがりやで、人前で一生懸命練習する姿を見られたくないと思っている。必死で何かに取り組むような環境が不足している。そういう環境を作ることができにくい状況であり、歯がゆい思いをしている」。また、「外部の人の指導を受けるときの生徒の態度は大変気になる。きちんと指導を受けてくれるだろうかと心配」。

<公演後の生徒達の感想>

「みんなで協力して一つのものを作り上げるのは感動的、達成感も強い」「打楽器をやっていて自信があったが、身体の運動がすごい。飛んだり声を出したり、なかなかタイミングが合わなかった」「太鼓の力強い音にびっくり。初めて練習した日は腕が痛くて、何で太鼓をしたのだらうと思った。文化祭では皆からすごいと言われて嬉しかった。またやってみたい」「結構難しかったけど、リズムさえ覚えれば、大丈夫と思った」。

<公演後の担当の先生の感想>

「日本太鼓の音が全身に響き、打った者は今までにない感覚を味わうことができたと思う。生徒の様子を見て、打てば打つほど、全身運動によって気持ちと身体が同時に高揚し、何ともいえない感覚にとらわれていくのではないかと感じた。バチさばきと太鼓の音が調和して、お腹のあたりに響き、だんだんとリズムに乗って元気が出てきた」。

<リズムの変化と身体の変化>

プラスバンドの打楽器担当の生徒は、囃子の基本リ

ズムを正確に叩きます。しっかりと叩かせて、他の生徒にはリズムに乗っての拍手を求め、次は足踏み、そして軽いジャンプ。リズムが身体に入ってくる様子がよくわかり、バチを握らせ、振りを大きくすると手が挙げります。将来の応用と上達を考えれば、自然の動作をそのまま派手にするべきでしょう。慣れると次々にリズムを変化させ、リズム体操を行います。初日でも2時間あればここまで可能です。器用さの度合いで悩む生徒もいますが、総合学習なので、気持ちを大事に考え、「生徒同士で教え合う」時間をとりました。

<生徒自身の曲づくりと興味>

次は、自分たちでの作曲に挑戦。創意工夫を引き出します。基本のリズムをいくつかパターン化してカード形式にし、並べ替えると色々なリズムが生まれてきます。面白い発見に、皆の目が輝き出すと、任せていても大丈夫。自分で工夫する楽しさにつながります。

<興味を持つことは知識の吸収>

太鼓のできる過程、音の違い、バチの木は何、材質の違いでの音の変化。鼓面の動物の皮はなに。音符で音楽の勉強、準備運動や演奏中はスポーツの時間、発表は自己表現の訓練、チームで叩けば仲間意識。すべてが学習の課題です。

<先生の貴重な意見>

全国一律のものより、郷土色のあるものを。「ふるさと教育にはふるさとのリズム」を。

子供たちは言っています。「上手になると中途半端な指導者にあきてくる」。

みんなで太鼓道に精進しましょう。



(中学校での指導風景)

第18回日本太鼓全国講習会(福島県・猪苗代)を開催



(成果発表)

第18回日本太鼓全国講習会が11月22・23日の両日、福島県支部が主管となり猪苗代町総合体育館カメリーナを中心に行われました。講習会には地元福島県をはじめ、全国24都府県から251名が参加しました。

開講式では当財団の塩見理事長、主管団体である福島県支部から猪越支部長が挨拶、引き続き猪苗代町津金町長より歓迎の言葉がありました。

一流の講師により、2日間にわたって厳しい指導が行われ、受講生たちは、真剣な眼差しで太鼓に向かっていました。

○専門講座

御諏訪太鼓講座	講師	小口 大八氏
秩父屋台囃子講座	講師	高野 右吉氏
締太鼓講座	講師	長谷川 義氏

○基本講座

総合指導	講師	古屋 邦夫氏
3級基本講座	講師	安江 信寿氏
4級基本講座	講師	若山 雷門氏
5級基本講座	講師	松枝 明美氏
	講師	渡辺 洋一氏

第2期公認指導員更新研修会を開催(福島)

公認指導員のための更新研修会が第18回日本太鼓全国講習会に併せて行われ、東北地方をはじめ全国から75名の公認指導員が参加しました。

参加した公認指導員の皆さんは、指導者の心構えや指導方法のあり方の重要性について再認識されていました。また、全国から参加した仲間との、交流を深める姿も見受けられました。

○研修内容

指導者としての心構え	(講師 小口 大八氏)
基本打法の指導法	(講師 古屋 邦夫氏)
	(講師 景山 道隆氏)
太鼓界の現状と今後	(講師 小野巽常務理事)
太鼓について	(講師 茂木 仁史氏)

技術認定員検定の結果は次の通りです。

1級検定	35名受検	28名合格	(6名認定)
2級検定	45名受検	35名合格	(12名認定)
3級検定	23名受検	21名認定	
4級検定	42名受検	42名認定	
5級検定	65名受検	64名認定	

3,238名が資格を取得

2004年1月現在の公認指導員・技術認定員数は以下の通りです。

<公認指導員>

特別2名、1級24名、2級61名、3級114名、
総数201名

<技術認定員>

1級24名、2級76名、3級353名、4級595名、
5級1,989名 総数3,037名

第19回日本太鼓全国講習会(長崎県)の案内

期 日：2004年2月14日(土)・15日(日)

主 催：財団法人日本太鼓連盟

主 管：全九州太鼓連合

財団法人日本太鼓連盟長崎県支部

会 場：シーハットおおむら(長崎県大村市)

専門講座

御諏訪太鼓講座……小口 大八氏(財団副会長・長野県)

大太鼓講座……渡辺 洋一氏(東京都)

締太鼓講座……長谷川 義氏(大分県)

基本講座

総合指導…古屋 邦夫氏(財団技術委員会委員長・長野県)

3級基本講座……安江 信寿氏(石川県)

4級基本講座……若山 雷門氏(岐阜県)

5級基本講座……松枝 明美氏(長野県)

……松元 和敏氏(鹿児島県)

受講料：大人10,000円(会員9,000円)

小人 5,000円(会員4,500円)

参加費：宿泊する場合 一律14,000円

宿泊・食事4食・記念写真等

宿泊しない場合 一律3,000円

食事2食・記念写真等

申込先：(財)日本太鼓連盟長崎県支部事務局

〒856-0027 長崎県大村市植松3-686-6

Tel/Fax. 0957-53-8803

振込先：西大村郵便局

口座番号 17690 23800011

口座名義 財団法人日本太鼓連盟
長崎県支部

新たに1級公認指導員が誕生

大和の響き「京」(京都府)代表であり、当財団評議員、京都府支部長でもある富治林浩氏について、技術委員会で検討した結果、同氏は指導力も高く、1級公認指導員に相応しいと判断し昇級が認められました。

これで28人目の1級公認指導員が誕生したことになります。おめでとうございます。



第18回日本太鼓支部講習会(鳥根県)の案内

期 日：2004年3月27日(土)・28日(日)

主 催：財団法人日本太鼓連盟鳥根県支部

会 場：国立三瓶青年の家(鳥根県大田市)

基本講座：

4級基本講座…古屋 邦夫氏(財団技術委員会委員長・長野県)

5級基本講座…松枝 明美氏(長野県)

景山 道隆氏(鳥根県)

申 込 先：

(財)日本太鼓連盟鳥根県支部事務局 祝原 志郎

〒690-2701 飯石郡掛合町大字掛合 1262-1

掛合町役場 総務課内

Tel. 0854-62-0300 Fax. 0854-62-0310

各方面で日本太鼓が演奏協力

社会貢献者表彰式典

11月4日東京都全日空ホテルにおいて社会貢献支援財団主催の社会貢献者表彰式典が開催されました。この式典は、社会のために尽くされている方たちの功績に感謝し、労をねぎらうとともに、その活動を支援すること、またその功績を広く社会に発信することを目的とするものです。

式典後の懇親会席上で東京都の助六太鼓保存会(代表：今泉豊氏)による演奏が行われ、受賞者、関係者が大変熱心に見入る姿が見受けられました。



(助六太鼓保存会)

2005年冬季スペシャルオリンピックス・キックオフパーティ(長野・東京)

10月14日長野県ホテル国際21、10月22日東京都新高輪プリンスホテルにおいてそれぞれスペシャルオリンピックス冬季世界大会支援者の会主催によるキックオフパーティが開催されました。スペシャルオリンピックスとは知的発達障害のある人たちに、日常的なスポーツ・トレーニングとその成果の発表の場である競技会を年間通じて提供し、社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。この式典は、アジアで初めて開催される2005年冬季世界大会(長野県)に向けてのキックオフパーティとして開催されたもので、長野県では地元のすみれ太鼓(代表：村上八洲氏)、東京都では静岡県富岳太鼓(代表：山内強嗣氏)がそれぞれ演奏を披露し、出席者から多くの拍手が送られていました。



すみれ太鼓(長野会場)



富岳太鼓(東京会場)

サンフランシスコ太鼓道場 田中誠一氏が外務大臣の表彰を受ける

7月4日、在サンフランシスコ日本国総領事館において、サンフランシスコ太鼓道場代表で1級公認指導員の田中誠一氏が外務大臣表彰を受けられました。これは、田中氏がアメリカにおいて35年にわたり、100余のチーム1万人を超える方々へ日本太鼓の普及と指導に尽力されたことが評価されたものです。田中氏にとっては、2001年9月の「2001 National Heritage Fellowships（米国版重要無形文化財）」に続く受章となりました。



(表彰式)



(表彰状)

高野右吉と秩父社中(埼玉県)がロシア・サンクトペテルブルグで公演

無形文化財 秩父屋台囃子保存会
高野右吉と秩父社中 高野 右吉

2003年10月、我々「秩父屋台囃子保存会 高野右吉と秩父社中」はロシア・サンクトペテルブルグ国際協力会及び同露日友好協会より要請を受け、サンクトペテルブルグ市内「シュバルグスキー宮殿」における「日本伝統文化フェスティバル」として「秩父屋台囃子」の演奏を行ってまいりました。このフェスティバルはサンクトペテルブルグ建都300周年記念事業の一環である「ロシアにおける日本年」を記念して開催されたものです。

公演は無形文化財の「秩父屋台囃子」をはじめとした4曲、約1時間行いましたが、ロシアの皆さんにも、同行した他の伝統文化継承の皆さんにも大変な好評をいただくことが出来、日露友好親善の責務を果たした思いでした。また、新聞、テレビにも大きく取り上げられて本当にうれしく思いました。前日の演奏が気に入り、プレゼントを持って再来のロシアの方もたくさんいました。

現在でもまだまだ、外国の方とはお互いに理解不足の点多々あると思われます。今回のような親善交流を深める事業に多少なりともお手伝いできたことはこの上ない幸せでございました。これも日頃お引き立てをいただいている(財)日本太鼓連盟をはじめとした皆様のおかげと感謝にたえない次第であります。心よりお礼申し上げます。



コンクールに出場されるジュニアの皆様へ

第1回大会から総務大臣杯、第5回大会からは文部科学大臣奨励賞の下付を受け、全国から選抜されたメンバーが演奏技術を競い合いながら、お互いに技術向上を目指してきております。第6回ジュニアコンクールは各都道府県の予選大会(参加チーム288団体、出場者4,248名、観客数16,481名)で優勝したチーム等が一堂に会し、従前以上の熱演が展開されます。回を重ねるごとに参加チーム、出演者が増え、演奏技術も上達し、その評価が高まってきております。本大会は国内で大臣の賞を戴いている唯一のジュニアによるコンクールです。

出場されるジュニアの皆様には相手の思いやりはもちろん礼節を重んじ、日本一を目指して、ジュニアらしく真摯で元気ある演奏を期待しております。

名 称：総務大臣杯・文部科学大臣奨励賞 第6回日本太鼓ジュニアコンクール

期 日：2004年3月21日(日) 開場10:30 開演11:00 終演予定18:30(リハーサルは前日)

会 場：羽島市文化センター (岐阜県羽島市竹鼻町丸の内6-7 Tel058-393-2231)

主 催：財団法人日本太鼓連盟

主 管：財団法人日本太鼓連盟岐阜県支部

後援予定：総務省、文化庁、岐阜県、岐阜県教育委員会、羽島市、羽島市教育委員会、(財)日本音楽財団ほか
協 賛：日本財団

入 場 料：前売 2,000円 当日2,500円

第6回日本太鼓ジュニアコンクール出場団体(32都道府県38チーム)

北見オホーツク太鼓青虎天真(北海道道東)、風雪太鼓(北海道道央)、夕張太鼓保存会「竜花」(北海道道西)、大船渡農業高校大農太鼓部(岩手)、利府太鼓(宮城)、刈和野大綱太鼓(秋田)、龍連山太鼓道場「纏組」(山形)、大越町和太鼓保存会「鬼子」(福島)、みのり太鼓(茨城)、ゆりかごわんぱく太鼓Jr(栃木)、上州榛東ふるさと太鼓(群馬)、きたみ太鼓(埼玉)、のさか太鼓(千葉県)、荏原流れ太鼓響き会(東京)、秦野市観光和太鼓研修会(神奈川)、越中いさみ太鼓(富山)、輪島・和太鼓虎之助(石川)、山梨県立山梨園芸高等学校すいれき太鼓部(山梨)、岡谷太鼓保存会優心会(長野)、穂積太鼓、上石津もんでこ太鼓、磨墨太鼓保存会、加納ふるさと太鼓、高鷲わらべ太鼓(以上岐阜)、天城連峰太鼓(静岡)、松平わ太鼓(愛知)、大和の響き「京」(京都)、播州新宮越部太鼓(兵庫)、掛合太鼓Jr(島根)、川筋太鼓博多響楽館(福岡)、聖子供太鼓(佐賀)、諫早天満太鼓(長崎)、人吉ねぶか太鼓(熊本)、ゆふいん源流少年隊(大分)、華太鼓かんなの会ふじ組(宮崎)、山川ツマベニ少年太鼓(鹿児島)、金光藤蔭高等学校和太鼓部(大阪)、広島山陽学園山陽高等学校音楽部「弾」(広島)

特別出演：信濃国松川響岳太鼓子供会(長野・第5回優勝チーム)ほか

事務局だより

訃 報

日頃より、日本太鼓の普及、発展のためにご尽力をいただいております次の方々のご逝去されました。ここに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。なお、葬儀には当財団役員が参列いたしました。

ジョージ川口氏

2003年11月1日死去。

享年76歳。

当財団評議員に設立より就任。
ジュニアコンクール審査委員
を第3回より務める。

小泉 光司氏

2003年11月23日死去。

享年71歳。

新潟県支部支部長。
新潟万代太鼓神龍会代表。

河野 忠幸氏

2003年10月13日死去。

享年57歳。

千葉県支部副支部長。
上総ノ国房州太鼓代表。